

輝

— かがやく —

令和3年12月23日（木） NO. 2

『 秀さんの心 』

造園業を営む「ひかり造園」で、職場体験をすることになった昌雄と久志。そこで、一人の職人“秀さん”と出会う。秀さんは、仕事の仲間や上司だけでなく、仕事先の家の方々、自分が使う木などに対しても礼儀を大切にしている。職場体験最終日、連日の作業に疲れた昌雄が寝坊をし、二人はバスに乗り遅れてしまう。秀さんに怒られるのではないかと不安になる昌雄・・・

礼儀を重んじる秀さんの姿や、昌雄と久志が秀さんと関わる様子に触れながら、礼儀の大切さやその意味について考えを深めました。



～ みんなの学び ～

◇私たちが何気なくしている礼儀の大切さを学ぶことができました。秀さんが「木」にも挨拶しているのを見て、すごいと感じました。普段は人としかしないけど、少し他のものに対しても礼儀ある行動ができたと思います。

◇私は、人間以外のものに礼儀をはらったことがなかったし、そういう考えすらもなかったので、今日の授業で考え方が変わりました。他の人から見て、礼儀がしっかりしていると思われるような行動をしたいと思いました。

◇「礼儀」って社会の決まりにかなう、人の行動や作法。そのような敬意の表し方があることを学びました。これからも自分の礼儀正しさを広めていきたいと思いました。

◇礼儀は社会に出ても、人と関わる時も、大切なものだと思った。秀さんのように、人や物に礼儀を示すことができるようになりたいと思いました。

◇礼儀は、これから社会に出るときなどに必要になってくるので、普段からも礼儀を大切に、秀さんみたいに誰にでも何でも礼儀の心をもてるようになりたいと思いました。

◇仕事や面接など、様々な物事に対して礼儀をはらって行動することが大切だということを秀さんの姿から学びました。礼儀というのは挨拶やおじぎなど、普段から育めるものもあると思うので、身近なことからしていきたいです。

◇挨拶は、人と人をつなぐ大切な礼儀だと思いました。礼儀を大切にすることで、話さなくても相手に気持ちを伝えられます。挨拶は人だけでなく、動物や植物、物に対しても示すものだと気づかされました。

◇1年生で初めて部活に入ったとき、小学校では考えられないくらい挨拶がされていて、初めは抵抗をもっていただけ、2年生になって挨拶されて、悪い気分になることなんて1回もなかったので、礼儀正しくありたいと思いました。

◇自分はこの話を読んで、自分たちは職場体験がなかったけど、職場での礼儀の大切さについて知ることができました。また、部活のときにも礼儀・挨拶をこれから意識しながら練習していきたいです。

◇自分は関係ないからと、適当にやるのではなく、感謝したり敬意をもって、一生懸命することが大事だとわかった。

◇「自分を正し、心をきれいにすること」友達が言っていた、自分と植物などに対等に接するというのはあまり考えたことがなかったけど、よく考えてみると、そのように行動したら、もっと自分が良い人間になるのかなと思いました。

◇当たり前であり、常識で、「ありがとう」「ごめん」などのちょっとした声かけも礼儀。人だけじゃなくて生き物全部に表す。それが自分の中の礼儀。

◇「ありがとう」となるべく言うようにしています。「礼儀」は自分のことだけではなく、相手のことを考えてする「礼儀」を大切にすべきだと思いました。

◇礼儀は、その人の熱意とかを表すものだから、これから軽く挨拶するとか、中途半端に礼儀を示すのではなく、思いをもって誰にでも礼儀ある行動をしていきたいと思いました。

◇礼儀には、人の心を動かすようなものがあると思います。うまく伝えられないけど、挨拶とか言葉づかいで、それを見ていた人、それを受けた人、それを行っている人に良い影響を与えられるのかなと思います。

～ 3学期の“道徳”では～

2学期も道徳の授業を通して、自分自身と見つめ直したり、家族や友達、先生、地域の方々などの周りの人との関わりについて考えたりすることができましたね。3学期の道徳の授業では、さらに視野を広げて考えを深めたり、自分の日常生活や今後の人生に関連付けて考えたりしてみましよう。みなさんがよりよい人生を送るためのヒントと出会えることを願っています。